

池の復活事業に学会賞

開園100年を迎えた都立井の頭公園(武蔵野市、三鷹市)の井の頭池で、都や市民が行っている「かいぼり」などの外来種駆除や湧水復活に向けた事業が、日本水環境学会関東支部の今年度の水環境保全活動特別賞に選ばれた。17日に表彰される。都の担当者の内山香さんは「一部の外来種の増加など課題も残っている。地域との協働を続けていきたい」としている。

ただ、ザリガニは課題…

表彰されるのは「よみがえれ!!井の頭池!」と称し、都が地元市などと2006年に着手した事業。「井の頭池をかつての美しい姿に」という地元の声に応えた。

ボランティアらが週2回続けられているアメリカザリガニの駆除。170基のかごのわなを引きあげていく井の頭公園



14~16年には2回、合わせて延べ約千人のボランティアが参加し、数カ月ずつかけて池の水を抜いてごみや外来魚種を取りのぞく「かいぼり」を行った。プ



ラックバス約1500匹やブルーギル約2万匹を駆除し、絶滅危惧種の藻類ノカシラフラスコモが59年ぶりに確認されるなど、水草や在来種が回復した。一方、課題も残る。井の頭池など各地で自然再生事業を担い、今回、奨励賞を受ける環境NPO「生態工

房」の佐藤方博事務局長は、「井の頭池は湧き水のある泉特有の生態系だったが、まだ回復していない」と指摘する。天敵のブラックバスがいなくなり、水の浄化などに重要な役割を担う水草を食べてしまうアメリカザリガニが増加。都が週2回の駆除をボランティアらと続け、1回で約500~900匹を捕獲。この冬も3度目のかいぼりを予定しているが、徹底的な駆除は難しいという。

湧き水も復活していない。都によると、かつて1日数万ト以上の水が湧いていた井の頭池は、都市化に伴い1960年代以降に減少。井戸水を1日3500トくみ上げて池に水を入れており、ボランティアでかいぼりに加わった男性は「人工呼吸器で生きているような状態だ」と嘆く。

(青木美希、張守男)

むさしの

武蔵野支局

〒180-0006

武蔵野市中町1-9-5

第一中央ビル5階

☎ 0422-51-5531

fax 0422-55-6568

mail musashino-

shikyoku@

asahi.com

立川支局

☎ 042-524-5104

東京総局

☎ 03-3508-0390

購読・配達のご用は

☎ 0120-33-0843

平日 7:00~21:00

休日 7:00~17:00

広告のご用は

☎ 03-3547-5552

折り込みのご用は

☎ 03-3544-7621

きょうの天気

6-12時 降水確率 12~18時

10	大手町	30
10	練馬	30
10	府中	30
10	八王子	30

大手町 府中
南南東 南南東